

今年も聖油聖別と司祭按手の約束の更新の聖餐式にともにお集まりいただきましたことを感謝申し上げます。さて聖油聖別の聖餐式は、日頃は派遣された場所で働いている同労者が集まり、目に見える形で教区の司祭団が、主教と共に祭壇を囲み、信徒を代表する皆さんと一緒に聖餐式を捧げることによって、教会の共同体性と一致を再確認する機会です。また司祭の貴い務めを果たす中で秘跡の執行するために必要な聖香油を、主教と共にこのミサの中で祝福いたします。加えて、この説教のあとで司祭団は、それぞれが司祭に按手された日の決意を思い起こし、主教の招きに続いてその決意を新たにいたします。

一年に一度、司祭はこのようにして共に集い、自らの按手の日、司祭としての第一歩を思い起こし、初心に立ち返ることによって、主イエスから与えられた使命の根本を再確認いたします。お集まりの皆さん、どうか、私たち司祭が、主キリストから与えられた使命に忠実に生き、日々の生活の中でそれを見失うことなく、生涯を通じて使命に生き抜くことが出来るように、祈ってくださるよう、お願いいたします。司祭団は皆さんの祈りに支えられて現在があります。皆さんが教区の信徒を代表して司祭団のためにお祈りいただけることを本当に感謝申し上げます。

さて司祭の務めは何でしょうか。聖公会の5指標に端的に示されておると思いますが、教会の本来の使命を果たすために集う人々を整えていく大切な務めです。そのために、司祭はいつもどんな時にも倦まずたゆまず福音を人々に伝え続けます。世界中の人々のために聖餐式を捧げていきます。そして神を信じる人々が信仰と愛と霊的な生活をできるように成長させるために、助けていく牧会の務めがあります。司祭はまず神と教会に仕える者でなければなりません。そのために自分自身が神との一致を常に喜びをもって深めていく霊的生活を必要とします。祈りや黙想を大切にしていっていただきたいと思います。そうすることによって神から求められる自分自身の生活が明白になっていきます。復活日にコミュニオンが出されて、倉沢新司祭と今年定年退職された山口、橋本両司祭の文章が掲載されています。非常にすばらしい証であると思います。山口司祭はこのように書いています。「定年まで歩んでこられたのは、毎朝の短い祈りの時間を守ることを自らのディシプリンとして、信徒の皆様に支えられて日々導かれたからです。祈りの生活が毎日を整え、毎日の生活が信仰の土台の上に作り上げられていったことを感謝しています。」私も本当にそのことは大切にしなければならないことだと改めて思い知らされました。

神から求められる生き方は単純です。祈りの精神、すべての人々に対する愛、とくに小さく貧しくされた人々への愛、神への従順、謙遜、自己犠牲によって、福音のあかしを立てる務めであることの重要性を認識し、私たち自身の生き方

を、あらためて見直していただきたい。イエスはいつも主の霊である聖霊を受け、霊に導かれてその使命を遂行しました。イエスは聖霊の導きに従い、神の国の福音を宣べ伝え、病人を癒し、悪霊を追放し、十字架の死と復活によって罪に打ち克ち、父のもとにのぼり、弟子たちの上にご自身の霊である聖霊を注ぎ、教会を設立しました。いまイエスは教会を通してご自分の使命を継続しようとしておられます。わたしたち司祭の使命は主イエスから受けた使命、主イエスから託された任務です。それは非常に厳しく険しい道でもあります。わたしたち教役者は弱い人間でありながら、神の力である聖霊の助け・導きをうけ、キリストの使命に与り、神の仕事を行う者とされました。それが可能であるのはひとえに聖霊の働きを受けているからです。したがって、司祭は自分の存在と任務はすべて神の霊の働きによることを深く悟り、人々の前に、自分の存在とすべての働きを通して神の栄光が現れるよう努めなければなりません。神は、主を畏れ、主に祈り、主に信頼する者、信仰深い、そして謙遜な人を通してその力を現されます。司祭は神から大きな期待をされています。

司祭といえども自分の務めを実行するに際して試練に出会い、また誘惑を受けることが少なくはありません。主イエスに倣い、試練に打ち克ち、誘惑を退け、一致して、励ましあい、互いに祈るようして克服していきましょう。

福音の喜びを伝える者として、世間の悪や教会内の悪に直面しても、献身と熱意を失うための口実にするべきではありません。自分の弱さの自覚に痛めつけられても、あきらめることなく、十字架の勝利を目指して進みましょう。現在の東京教区は決して順風満帆というわけにはいっていないでしょう。しかしわたしたちは困難な状況でも、失望し、絶望し、投げやりになり、不毛な悲観主義に陥るといふ誘惑にさらされますが、あせらず、希望を持って、主に信頼して、この試練のときを越えていきたいと願っています。復活の希望を抱きつつ、主を信頼し与えられた使命を果たしてまいりましょう。今から司祭の約束の更新をします。皆様もどうぞ一人一人の司祭たちが、真実に約束に向き合うことができるように聖霊の御力を求めてください。